

指導方法等の改善計画について

〔国語科〕

坂町立小屋浦小学校

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本校	広島県	全国
76%	69%	67.2%

全国学力・学習状況調査 正答率と本年度の結果について

- 平均正答率は76%で、全国平均と比較すると8.8p上回っている。領域ごとに比較すると、『話すこと・聞くこと』において+27.4p、『書くこと』において-6.7p、『読むこと』において+2.1pであり、学力はおおむね定着していると思われる。無回答率は0%であり、全員が正答率60%以上を達成した。
- 昨年度の課題への取組の成果と課題
昨年度は、複数の資料を読み取り、条件（書き方についてではなく内容について）に合わせて書くことに課題が見られた。思考力や表現力が高まるような取組を進めてきたが、本年度『書くこと』において、県、全国平均より下回っていた。（本校20%）
そのため、昨年度と同様に、表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫させる学習が必要であると考え。

重点課題

- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題で、3つの条件を満たして書けていない。
[1 (二)] (本校20% 全国26.7%)
- 原因と結果など情報と情報との関係について答える問題で、正解は「結果—原因」だったが、「考え—事例」「部分—全体」を選んでいった。
[1 (一)] (本校40% 全国64.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

- 2つ以上の条件に合わせて書く経験を積ませる。
- ページにまたがった複数の資料を基に読み取る練習をする。
- グラフや表を引用する文章の表し方が意識できるようにする。「書くこと」の学習では、文字数や伝えたいことが書かれているかを確認できるようにする。
- 文章や資料を読む時には、様々な情報の中から、大切な言葉に線を引きながら読むなどの習慣をつけるようにする。
- 「部分」「全体」など、説明文を構成する言葉と、その関係を理解できるように、低学年から意識して取り組む。
- 読書量を増やす。（長い文章に触れる機会を増やす）
- 文章を書く時は、雛型を示す。
- 最後までやりきることができるように個別に支援する。

指導方法等の改善計画について

〔算数科・数学科〕

坂町立小屋浦小学校

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本校	広島県	全国
70%	64%	62.5%

全国学力・学習状況調査 正答率と本年度の結果について

- 平均正答率は70%で、全国平均と比較すると7.5p上回っている。領域ごとに比較すると、『数と計算』において+9.4p、『図形』において+1.8p、『変化と関係』において+9.1p、『データの活用』において+1.2p、であり、学力はおおむね定着していると見られる。無回答率は0%だった。
- 昨年度の課題への取組の成果と課題
 昨年度は、『変化と関係』の問題を読み解くことに難しさが見られたため、算数の問題場面と実際の生活とをつなげる活用を重視した指導を行った。本年度『変化と関係』において、県、全国平均より上回ったため（本校80%）、成果があったと考えられる。一方で、今年度は『データの活用』において、示された表から必要な数を読み取ることが苦手なことが明らかになったため、表のどの部分からそのように考えたのかを明らかにして、他者にも分かるように伝えるなどの学習が必要であると考えられる。

重点課題

- テープを直線で切ってできた2つの三角形の面積の大小について分かることを選ぶ問題で、テープの幅が三角形の高さになることを理解できていなかった。
[2(4)] (本校0% 20.8%)
- 2種類の辞典を全部並べた長さを求める2つの式について、正しい式の意味を選択できなかった。
[3(1)] (本校60% 70.3%)
- 運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める問題で、「以上」の意味を理解し、必要な数を読み取ることができなかった。
[4(2)] (本校60% 75.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

- 平行や垂直、三角形の性質などの理解が深まるように繰り返し復習する。面積は示されていないが、高さが同じことを見付けるなど、問題の中に隠されている情報を見付けられるような練習問題に取り組みさせる。
- 授業の中で、数式が何を表しているのかを説明させたり、言葉の式に直したりする機会を増やす。出題頻度の少ない問題については、授業の始めや仕上げの時間を活用して復習し、定着を図る。
- 「以上」「以下」「未満」の定義を言葉だけでなく、視覚的に示して理解できるようにする。表を扱う時には、注目させたい項目（縦・横）を色で塗るなど、どこを見たら、どんな情報が得られるのかが分かるように、指導の工夫をする。また、表やグラフを自力で書く経験を増やし、情報の整理・分析に慣れさせる。

指導方法等の改善計画について〔質問紙調査〕

坂町立小屋浦小学校

(1) 生活・学習

児童・生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容
質問番号（4）自分には、よいところがあると思いますか。 （肯定的回答 本校 60.0% 広島県 85%） 質問番号（41）学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。 （肯定的回答 本校 60.0% 広島県 76.3%）	<ul style="list-style-type: none">・学級活動や授業において、多様な考え、新たな見方や考え方を受け入れ、一人一人の考えや活動のよさを認め合う場を設ける。・学級活動を行う際には、必ず個人のめあてを設定するとともに振り返りを行い、それを蓄積していくようにする。

(2) 教科

国語 児童・生徒の回答についての課題（現状値） 質問番号（43）国語の勉強は好きですか。 （肯定的回答 本校 40.0% 広島県 62.4%）	授業改善の方向性や具体的な取組 <ul style="list-style-type: none">・漢字や文法の習熟を図り、複数の資料を基に読み取ったことを整理して書くなどの練習や言語を増やす取組なども取り入れ、苦手意識を軽減し、自信をもたせる。
算数・数学 児童・生徒の回答についての課題（現状値） 質問番号（51）算数の勉強は好きですか。 （肯定的回答 本校 20.0% 広島県 60.9%）	授業改善の方向性や具体的な取組 <ul style="list-style-type: none">・教材教具や問題の提示を工夫し、子どもたちの知的好奇心や探求心を高める算数的活動を取り入れるようにする。
英語科 児童・生徒の回答についての課題（現状値） （小学校は未実施）	授業改善の方向性や具体的な取組 （小学校は未実施）